

第109期

# 営業のご報告

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

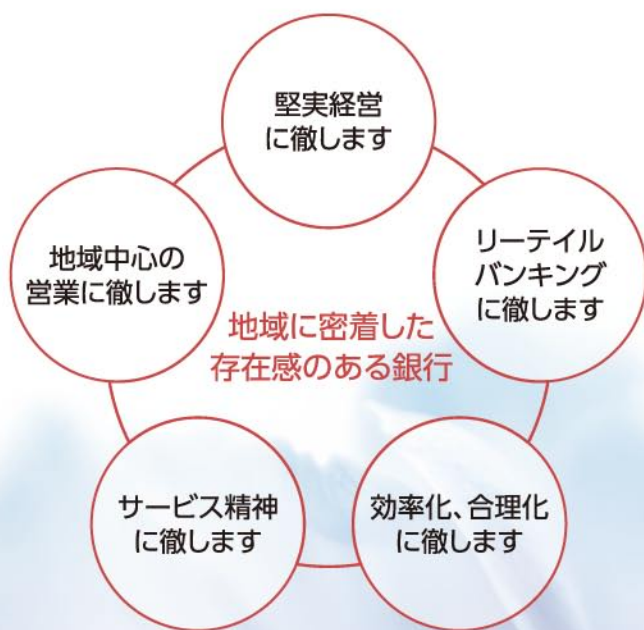
2018.3 あいぎん ミニディスクロージャー

あい、ふれあい、きずきあい。



あい、ふれあい、きずきあい

愛知銀行



## contents

経営理念	1
トップメッセージ	2
経営計画 地域、個人・中小企業のお客さまへの貸出	3
業績ハイライト	5
財務諸表	7
愛知銀行のビジネスサポート	9
地方創生への取組	11
地域社会への貢献活動	12
愛知銀行のライフサポート	13
株主優待制度	15
株式の状況・ご案内	16
お客さま満足度向上に向けた取組	17
店舗網、ATMネットワーク	18

## トップメッセージ



取締役会長 小出 眞市



取締役頭取 矢澤 勝幸

平素は愛知銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

我が国の経済情勢は、企業収益の改善は緩やかになったものの設備投資と個人消費がともに底堅く推移し、景気回復基調を維持しています。一方、人口減少や高齢化社会の進行等の課題への対処を迫られるなかで、地方創生への取組など、地域活性化に向けて地域金融機関が果たすべき役割への期待は一段と強まりつつあります。

こうした経営環境の中で、平成28年4月からスタートさせた「第10次中期経営計画」では、当行が10年後に目指す姿として「地元調達・地元運用に徹し、地域社会の発展とお客さまの成長に貢献する愛知のリーディングバンク」を掲げ、10年後も地元中心の経営に特化している「当行の企業像」を明確にいたしております。

中期経営計画の3年間で目指す大きな目標は3つあります。1つ目は「収益力増強のための営業体制強化」です。具体的には、「新営業体制」への移行、「本部組織のスリム化」を実施したことにより営業店人員を増強し、営業力の強化を図っています。2つ目は、「リスク・リターン

バランスを踏まえた堅実経営」です。当行が長年にわたり培ってまいりました堅実経営を遵守していくなかで、リスク・リターンとのバランスを踏まえて果敢にお客さまへの融資や支援に取り組んでいます。3つ目は、「金融サービスを通じたメイン取引先の拡大」です。法人・個人ともにメイン取引先の増加を目指した活動を強化しています。地域のシェアを高め、10年後の姿に掲げる「愛知のリーディングバンク」の礎を築いていきます。

以上の3つの目標を達成するために、「経営資源の選択と集中」、「挑戦、スピードアップ」、「地域社会への貢献」の3点を戦略構築の基本方針として掲げています。

1つ目の「経営資源の選択と集中」につきましては、「ヒト」、「モノ」、「カネ」という経営資源を選択し、個別戦略に集中させています。2つ目の「挑戦、スピードアップ」につきましては、あらゆる業務において迅速な対応が可能となるように、組織の見直し、及び業務効率化などを積極的に進めています。

最後の「地域社会への貢献」につきましては、地方創生に向けた地域の成長企業支援、ソリューション営業による取引関係の強化、愛知銀行グループ全体の金融総合サービスの強化などにより、地域社会の活性化に貢献していきます。この基本方針の下で、収益力の強化、経営基盤整備のための個別施策を展開しています。

重点施策として掲げた「中小企業、特にミドルリスク先・年商の少ない零細企業向け貸出の増強」については、第10次中期経営計画2年目(昨年度)も、目標を大きく上回る成果をあげております。最終年度を迎えた今年度も引き続き重点戦略として、前年を上回る成果に繋がるように真摯に取り組んでまいります。



# 経営計画

## ■第10次中期経営計画（平成28年4月～平成31年3月）

地域に根ざし、地域社会の発展に  
貢献していきます

10年後に  
目指す姿

地元調達・地元運用に徹し、  
地域社会の発展とお客さまの成長に  
貢献する愛知のリーディングバンク

大目的

- 収益力増強のための営業体制強化
- リスク・リターンを踏まえた堅実経営
- 金融サービスを通じたメイン取引先の拡大

基本方針

- 経営資源の選択と集中
- 挑戦、スピードアップ
- 地域社会への貢献

第10次中計基本戦略体系

店舗戦略

トップライン  
強化

- 法人戦略
- 個人戦略
- 市場運用戦略

経営基盤  
整備

組織・人材戦略 経営管理態勢

中期経営計画を確実に遂行するためのPDCA体制の確立

第10次中期経営計画で目指す経営指標（平成30年度目標）

◆コア業務純益  
65億円

◆経常利益  
62億円

◆当期純利益  
43億円

・当初目標から  
17億円下方修正

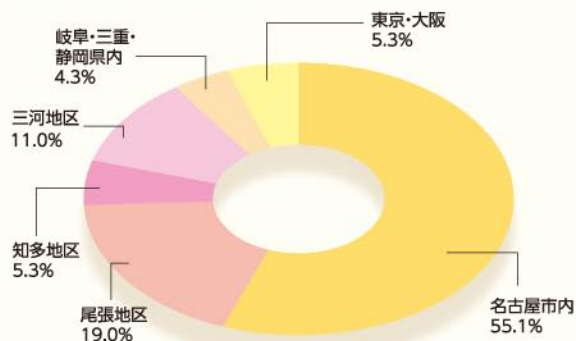
・当初目標から  
13億円下方修正

・当初目標から  
7億円下方修正

# 地域、個人・中小企業のお客さま

## ■地域別貸出額

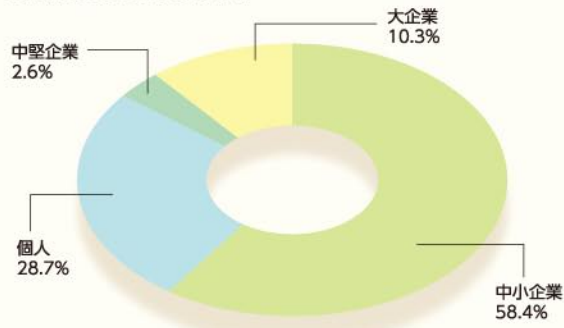
愛知県内への貸出は1兆6,353億円で総貸出額の  
90.4%となっております。



愛知県内 90.4% 平成30年3月31日現在

## ■個人・中小企業向け貸出額

個人・中小企業向け貸出は1兆5,751億円で総貸出額の  
87.1%となっております。



個人・中小企業 87.1% 平成30年3月31日現在



## ■住宅ローン件数・残高

平成30年3月末現在の貸出件数は31,428件(前期末比4.5%増加)、貸出残高は5,386億円(前期末比6.8%増加)となっております。



## ■中小企業向け貸出金残高

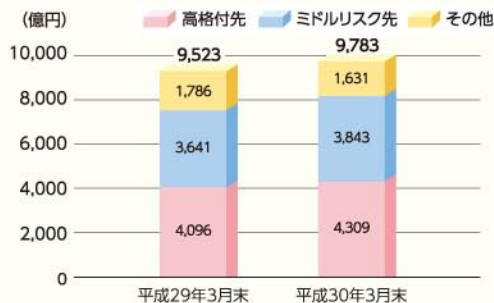
中小企業向け貸出金残高は前期末比348億円増加し1兆567億円(前期末比3.4%増加)となっております。



## ■第10次中期経営計画の成果

第10次中期経営計画では、中小企業(特にミドルリスク先、年商の少ない零細企業)向け貸出の増強及び、メイン化を中心施策として掲げております。平成30年3月期の実績(年間平均残高)は下記のとおりです。

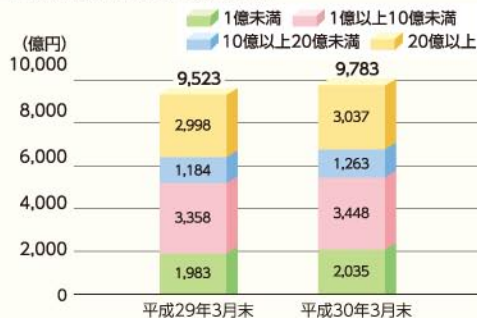
### ■格付別中小企業向け貸出金



	高格付先	ミドルリスク先	その他	全体
対前年比	213	202	▲155	260

**成果** ミドルリスク先で202億円の増加。

### ■年商別中小企業向け貸出金



	1億未満	1億以上10億未満	10億以上20億未満	20億以上	全体
対前年比	52	90	79	39	260

**成果** 年商20億円未満の先で221億円の増加。

# 業績ハイライト

## ■預金(譲渡性預金含む)・貸出金

預金は、法人預金を主体に前期末比468億円増加(前期末比1.72%増加)し、2兆7,589億円となりました。

貸出金は事業性貸出および住宅ローンなどの個人向け貸出が増加したことから、前期末比711億円増加(前期末比4.09%増加)し、1兆8,093億円となりました。



## ■コア業務純益

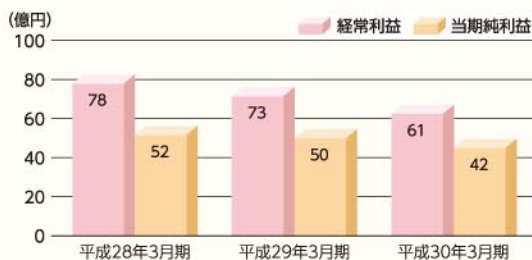
資金利益が減少したことから、前期末比8億円減少し、58億円となりました。



## ■経常利益・当期純利益

経常利益は資金利益および国債等債券損益が減少したことなどから前期末比12億円減少し、61億円となりました。

当期純利益は、前期末比8億円減少し42億円となりました。



## ■一株当たり当期純利益・一株当たり純資産額





## ■預かり資産

個人預かり資産残高は前期末比160億円増加(前期末比5.2%増加)し3,207億円となりました。



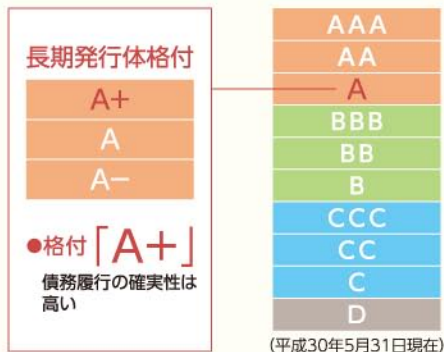
## ■自己資本比率

自己資本比率(単体)は10.86%と自己資本比率規制の国内基準4%を大きく上回っています。



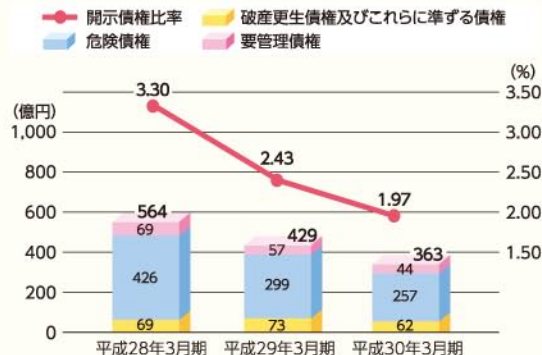
## ■格付

株式会社日本格付研究所(JCR)より、長期発行体格付として「A+(シングルAプラス)」という高いランクの格付を取得しております。



## ■不良債権

金融再生法に基づく不良債権額は前期末比66億円減少し363億円となりました。不良債権比率は前期末比0.46ポイント改善し1.97%となりました。





# 単体財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。(単位:百万円)

## ■第109期末貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	162,092	預金	2,754,818
コールローン	2,294	譲渡性預金	4,100
有価証券	1,113,178	コールマネー	10,624
投資損失引当金	△8	債券貸借取引受入担保金	65,824
貸出金	1,809,336	借入金	27,337
外国為替	2,077	外国為替	1,123
その他資産	4,495	その他負債	7,417
有形固定資産	34,860	賞与引当金	635
無形固定資産	932	役員賞与引当金	39
前払年金費用	5,173	退職給付引当金	58
支払承諾見返	8,444	睡眠預金払戻損失引当金	117
貸倒引当金	△5,336	偶発損失引当金	1,171
<b>資産の部合計</b>	<b>3,137,541</b>	繰延税金負債	22,265
		再評価に係る繰延税金負債	4,735
		支払承諾	8,444
		<b>負債の部合計</b>	<b>2,908,712</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資本金	18,000
		資本剰余金	13,834
		利益剰余金	129,292
		自己株式	△765
		株主資本合計	160,361
		その他有価証券評価差額金	59,878
		土地再評価差額金	8,323
		評価・換算差額等合計	68,201
		新株予約権	265
		<b>純資産の部合計</b>	<b>228,828</b>
		<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>3,137,541</b>

## ■第109期損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>42,920</b>
資金運用収益	29,400
役務取引等収益	6,513
その他業務収益	1,387
その他経常収益	5,618
<b>経常費用</b>	<b>36,803</b>
資金調達費用	1,024
役務取引等費用	2,887
その他業務費用	4,699
営業経費	26,241
その他経常費用	1,950
<b>経常利益</b>	<b>6,117</b>
特別利益	7
特別損失	186
税引前当期純利益	5,938
法人税、住民税及び事業税	1,813
法人税等調整額	△93
法人税等合計	1,720
<b>当期純利益</b>	<b>4,218</b>

## ■インターネットホームページ

最新の経営情報や商品内容、キャンペーン情報などを掲載しております。  
また、ローンシミュレーションや店舗・ATMの検索などにもご利用いただけます。  
(<http://www.aichibank.co.jp/>)





# 連結財務諸表



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。(単位:百万円)

## ■第109期末連結貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
現金預け金	162,132
コールローン及び買入手形	2,294
有価証券	1,112,075
投資損失引当金	△8
貸出金	1,803,966
外国為替	2,077
その他資産	28,352
有形固定資産	35,163
無形固定資産	966
退職給付に係る資産	4,547
繰延税金資産	174
支払承諾見返	8,444
貸倒引当金	△6,217
<b>資産の部合計</b>	<b>3,153,970</b>

科目	金額
<b>負債の部</b>	
預金	2,751,372
譲渡性預金	4,100
コールマネー及び売渡手形	10,624
債券貸借取引受入担保金	65,824
借入金	37,742
外国為替	1,123
その他負債	9,141
賞与引当金	647
役員賞与引当金	42
退職給付に係る負債	1,063
役員退職慰労引当金	5
睡眠預金払戻損失引当金	117
偶発損失引当金	1,171
繰延税金負債	21,767
再評価に係る繰延税金負債	4,735
支払承諾	8,444
<b>負債の部合計</b>	<b>2,917,924</b>
<b>純資産の部</b>	
資本金	18,000
資本剰余金	13,883
利益剰余金	133,439
自己株式	△765
株主資本合計	164,557
その他有価証券評価差額金	59,990
土地再評価差額金	8,323
退職給付に係る調整累計額	△1,131
その他の包括利益累計額合計	67,181
新株予約権	265
非支配株主持分	4,040
<b>純資産の部合計</b>	<b>236,045</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>3,153,970</b>

## ■第109期連結損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>50,233</b>
資金運用収益	29,368
役務取引等収益	13,914
その他業務収益	1,392
その他経常収益	5,558
<b>経常費用</b>	<b>43,870</b>
資金調達費用	1,006
役務取引等費用	9,038
その他業務費用	4,699
営業経費	26,900
その他経常費用	2,224
<b>経常利益</b>	<b>6,363</b>
特別利益	7
特別損失	186
税金等調整前当期純利益	6,185
法人税、住民税及び事業税	1,959
法人税等調整額	△132
法人税等合計	1,826
当期純利益	4,358
非支配株主に帰属する当期純利益	84
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>4,274</b>

## ■「会社説明会(IR)」の開催

機関投資家向けの会社説明会を定期的に開催しております。

また、愛知銀行をより知っていただくために、個人投資家向けの会社説明会も開催しております。



# 愛知銀行のビジネスサポート

## ■企業のライフステージと3つの戦略サポート

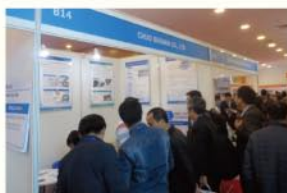
### ■創業・起業支援

日本政策金融公庫および外部専門家との連携による創業・起業支援を行っております。

### ■海外での商談会の開催

海外での「出会い」をご提供！

平成30年3月にベトナム・ハノイにおいて、国内の地方銀行および地方自治体等と共に商談会を開催いたしました。対象先は製造業に留まらず、非製造業まで広げております。



FBCハノイ2018ものづくり商談会

### ■海外ビジネスサポート

#### 海外銀行との業務提携

アジア地域、メキシコにおけるお取引先の海外ビジネスを支援するために7か国の8銀行と業務提携をしております。



### ■「愛銀ビジネス商談会」

幅ひろい「出会い」をご提供！

地域経済の活性化と地域企業の本業支援を目的とし、年に一度、「愛銀ビジネス商談会」を開催しております。



商談会の様子

#### 事業戦略サポート

起業 ———— 創業期 ———— 成長期

創業支援

ビジネスマッチング、M&Aサポート

#### 資本戦略サポート

起業 ———— 創業期 ———— 成長期

#### 財務戦略サポート

起業 ———— 創業期 ———— 成長期

でんさい、A

### ■産学官金連携

お客さまの技術開発ニーズを大学、高専などに繋ぎ、実用化に向けた支援を行っております。

連携協定  
締結先

- 名古屋大学
- 名古屋工業大学
- 名古屋市立大学
- 豊橋技術科学大学
- 名城大学
- 豊田工業高等専門学校
- 中小企業基盤整備機構中部本部
- 日本福祉大学

### ■各種セミナー

こんなこと知りたかった！

中小企業の経営者を対象とした「経営力向上計画セミナー」、および成長分野支援の一環として医療・介護事業者向けに、「あいぎん医療・介護セミナー」など、各種セミナーを随時開催いたしております。



## ■「愛銀トップセミナー」

当行のお取引先企業経営者のみなさまを対象として、定期的で開催しております。当行の現況説明や、外部講師による企業経営者向け講演会のほか、当行役員との懇親会を設けるなど、地域金融機関として積極的にお客さまとの関係強化に努めております。



トップセミナーの様子

期 —— 停滞期 —— 成熟期 —— さらになる成長へ▶

ポート、ビジネスアイ、産学連携、各種セミナー

確定拠出年金、海外ビジネスサポート、現場改善アドバイス

期 —— 停滞期 —— 成熟期 —— さらになる成長へ▶

あいぎん未来創造ファンド

事業承継・家系(計)承継サービス、株式上場支援(市場誘導業務)

期 —— 停滞期 —— 成熟期 —— さらになる成長へ▶

BL、地域企業応援パッケージ

私募債、シンジケートローン

## ■～東海地方の「ものづくり」のこれからを考える～ セミナー&個別相談会

自動車部品製造業者および航空機エンジン部品への参入を検討している企業を対象として、平成30年3月に今後の成長戦略や経営課題をテーマとしたセミナー・個別相談会を開催いたしました。



セミナーの様子

## ■現場改善アドバイス

ものづくり現場の  
エキスパートが訪問!

「現場改善アドバイザー」として採用した、製造現場で実際に長く働いた部品メーカーOBが地元のものづくり企業へ営業担当と同行訪問し、工場改革に繋がる提案・アドバイスを行っております。

## ■「M&Aサポート・事業承継・個別相談会」

後継者の不在など、経営課題を抱えているお取引先に対して事業承継やM&Aをご提案し、お客さまのライフステージに応じたきめ細やかなコンサルティング支援を行っております。

## ■「地域企業応援パッケージ」

日本政策金融公庫との協働により創業・成長・発展・再生等の各分野における支援を展開しております。

## ■地域密着型金融

地域密着型金融を推進していくことで、金融の円滑化を図り、地域のみなさまに信頼され、期待される金融機関を目指してまいります。

顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮 (平成29年4月～平成30年3月)

指標	数値目標	実績
①成長分野・創業への支援関与先数	200件	206件
②事業承継、M&Aの相談件数	500件	515件



# 地方創生への取組



## ■取組体制

各自治体との円滑な連携を図り、「地方版総合戦略」の推進に積極的に関与していくために、更に支援体制を充実させてまいります。

## ■地方版総合戦略の推進に向けた取組状況

### 自治体等との連携協定の締結

地方創生にかかる包括連携協定等を以下の自治体と締結しております。

#### ■締結先(締結順)

犬山市、小牧市、尾張旭市、桑名市、新城市、半田市、清須市、江南市、岩倉市、中津川市、日進市、愛知県、知多市、豊明市、大府市、大口町 その他にも、36の団体等との「連携協定」を締結しております。



大口町、大口町商工会との協定締結

#### ■株式会社JTB中部との「地方創生への取組に関する連携協定」の締結

「東海エリアと東北エリアとの交流」を基軸とし、両エリア間のビジネス・観光などを通じ、地域活性化や東日本大震災からの復興につなげます。



株式会社JTB中部との協定締結

### 自治体との連携事例

#### ■～地方創生～ 「地域活性化セミナー」

連携協定の締結に関わらず、自治体を対象として地域課題の解決につながるセミナーを開催しました。



セミナーの様子

#### ■地域活性化情報交換会の開催

当行と地方創生に関する包括連携協定を締結する自治体が一同に会し、定期的な意見交換や情報収集の場として開催しております。



情報交換の様子

### ■女性の活躍推進

愛知銀行では、女性が活躍できる環境づくりに取り組んでおります。

- 女性行員のキャリア意識の醸成
- 女性行員の融資係、渉外係、管理職への積極的登用
- 育児休業者復帰支援の充実

◇産前産後休業者及び育児休業者のサポートを目的とする自宅学習eラーニング「産休&育休サポートプログラム」を導入し、円滑な職場復帰をサポートしています。





## ■愛銀ライフサークル・チューリップ交通安全協会

「愛銀ライフサークル」は昭和49年より毎年、「チューリップ交通安全協会」は昭和43年より隔年で、社会福祉事業の一助として寄付活動を行っております。

### ■平成30年3月末までの累計額

愛銀ライフサークル	81百万円
チューリップ交通安全協会	23百万円



大口町社会福祉協議会への寄付金贈呈

## ■愛銀文化講演会

各界の著名人を講師に迎え、社会・金融経済問題を中心に講演会を行っております。

### ■第37回愛銀文化講演会(平成30年5月17日)

テーマ	新たなる日本経済と地域の展望
講師	慶應義塾大学 名誉教授 東洋大学 教授 竹中 平蔵 (たけなか へいぞう) 氏



講演の様子

## ■愛銀教育文化財団

学術・スポーツを含む教育・文化活動への助成や高校生を対象とした文化・体育活動への援助を行っております。

### ■助成金累計(平成2年度～平成29年度)

先数	674先
累計金額	2億54百万円



助成金贈呈式

## ■エコノミクス甲子園

愛知県内の高校生に楽しみながら金融経済を学んでもらうことを目的として毎年開催いたしております。



愛知大会優勝チーム

## 愛知銀行のライフサポート

お客様のニーズやライフプランに応じたサービスをご提供しております。

### ■住宅ローン、資産形成、相続は、 「休日なんでも相談会」で土・日相談。

各店舗（一部店舗を除く）にて土曜日または日曜日に年4回開催しております。平日にご相談いただけないお客さまは、「休日なんでも相談会」をご利用ください。住宅ローンをはじめとする各種ローンや資産運用および相続など、ゆっくりとご相談いただけます。



### ■生活応援ローン

ライフプランに合わせ、各種ローンをご用意しております。

### ■生命保険 ■個人年金保険 ■教育ローン

### ■NISAで資産形成をサポート

一般NISA<sup>\*1</sup>、ジュニアNISA<sup>\*1</sup>、つみたてNISA<sup>\*1</sup>を活用することで、教育・進学、ご結婚など、用途を特定せずライフプランに応じた資産形成で、様々な資金を準備することも可能です。

※1 NISAとは公募株式投資信託などの分配金や売却益が非課税になる個人投資家向けの制度で、未成年者の方が利用できる制度をジュニアNISAといいます。また、つみたてNISAとは、将来に向けて長期間にわたり継続的に積立投資を行うことで、非課税で資金を殖やすことができる制度のことです。

### ■パソコンやスマートフォンで投資信託！

個人向けインターネットバンキング「愛銀Aiダイレクト」<sup>\*2</sup>による投資信託の取扱を開始しました。本サービスの開始により、当行の窓口に来店することなくご自宅や外出先からもインターネットにより投資信託の売買などのお取引が可能となりました。

※2「愛銀Aiダイレクト」とは、個人のお客さまがパソコンやスマートフォンにてご利用できるインターネットサービスのことです。





## ■資産運用

著名人をお招きし、経済・景気動向など資産運用に関するセミナーを毎年開催しております。



資産運用セミナー

## ■年金相談

各店舗にて、専門家による年金相談会を定期的に開催しております。また、愛知銀行で公的年金をお受け取りのお客さまをご招待し、講演を中心としたセミナーも開催しております。  
(そのほかの特典もご用意しております。)



(年金) サークルゆうゆうセミナー

## ■お客さまセミナー

各店舗にて資産運用や相談対策をテーマとしたセミナーを年2回開催しております。また、相談会等を随時開催しております。安心してお気軽にご相談ください。

### お客さま本位の業務運営方針

当行は、資産形成に関するご提案や情報提供等について、お客さまの最善の利益を追求し、今まで以上に満足していただくことを目指してまいります。

- お客さまにふさわしい金融商品・サービスのご提供
- お客さまへの分かりやすい説明、情報提供の充実
- お客さまの最善の利益を図るための体制整備





# 株主優待制度

## ■株主優待制度の概要

対象となる株主さま	保有期間	優待内容
毎年3月31日現在で100株以上保有の株主さま	1年未満	株主優待定期
	継続して1年以上(注)	株主優待定期に加えて、3,000円相当の優待品を贈呈

(注)「継続して1年以上保有されている株主さま」とは、毎年3月31日現在で、当行株式100株以上を1年以上継続保有されている株主さまで、過去1年間(前年の3月31日および9月30日)の株主名簿に同一株主番号で連続して記録された株主さまといたします。なお、同一株主さまで株主番号が複数ある場合は、株主番号ごとに対象となる株主さまを判別し、株数の合算はいたしません。

### ■平成30年株主優待品

お申込期限  
平成30年12月31日(月)(当日消印有効)

<p><b>1</b> 横浜本牧亭 ビーフカレー</p> 	<p><b>2</b> キッチン飛騨 国産牛と国産豚の ハンバーグ</p> 	<p><b>3</b> 南魚沼産 こしひかり</p> 	<p><b>4</b> 富山ブラック ラーメン 【いろは】12食</p> 
<p><b>5</b> セレブコレクション カラフル2層 バームクーヘン</p> 	<p><b>6</b> 亀田製菓 おかし・おせんべい 詰合せ</p> 	<p><b>7</b> トンデンファーム ソーセージ・ ベーコンセット</p> 	<p><b>8</b> 青森りんご 100%ジュース (ストレート)</p> 
<p><b>9</b> やまや 辛子明太子 (無着色)</p> 	<p><b>10</b> 宮崎牛 焼肉用</p> 		

## ■株主優待定期の概要

- 取扱期間／平成30年(2018年)6月25日(月)～平成31年(2019年)6月28日(金)
- 優待対象者／平成30年3月31日現在で、当行株式を100株(1単元)以上保有されている株主ご本人さま(法人・個人とも)
- 取扱窓口／全店(窓口のみ・外貨定期預金は口座開設店の窓口のみ) ※1株主さま1店舗に限ります。
- 優待定期の選択  
①②のいずれか1つ、1株主さま1回限りご利用いただけます。

取扱預金	①株主優待定期預金	②株主優待外貨定期預金 (オープン型)
優待内容	金利上乘せ 店頭表示金利+年0.15%	金利上乘せ 店頭表示金利+年0.3%
金利上乘せは初回満期日までとなります。		
取扱通貨	円	米ドルまたはオーストラリアドル(以下、豪ドル)
預金種類	新たにお預け入れいただく 期間1年の自動継続 スーパー定期 [元金継続または元利金継続]	新たにお預け入れいただく 期間1・3・6か月・1年の自動継続 外貨定期預金 [元利継続または元金継続 (利息円貨受取型)]
預入金額	10万円以上200万円以内	1,000米ドル(または豪ドル)以上 20,000米ドル(または豪ドル)以内
発行形態	通帳式、証書式	通帳式のみ

株主優待制度のお問い合わせ先 経営管理部 TEL052(262)9520 平日9:00~17:00



# 株式の状況・ご案内



## ■株式の状況 (平成30年3月31日現在)

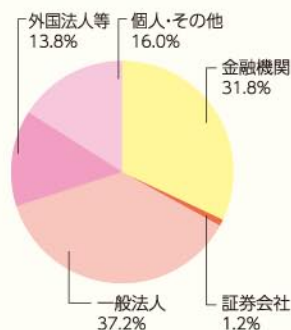
発行可能株式総数 普通株式 30,000千株

発行済株式の総数 普通株式 10,943千株  
(自己株式 100千株含む)

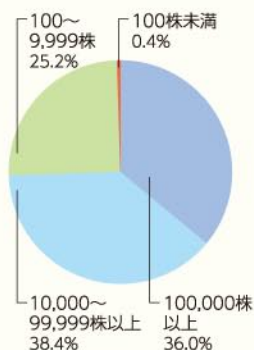
(注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

当期末株主数 6,670名

## ■所有者別分布状況



## ■所有株数別分布状況



## ■大株主 (平成30年3月31日現在)

株主の氏名または名称	当行への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,308	12.06
愛知銀行従業員持株会	339	3.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	302	2.78
日本生命保険相互会社	261	2.40
日本碍子株式会社	242	2.23
東邦瓦斯株式会社	237	2.18
明治安田生命保険相互会社	205	1.89
住友生命保険相互会社	170	1.56
住友不動産株式会社	156	1.44
HSBC BANK PLC A/C MARATHON FUSION JAPAN PARTNERSHIP LP	140	1.29

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数100,742株を控除のうえ算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## ■株式のご案内

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 ( <a href="http://www.aichibank.co.jp/">http://www.aichibank.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および中日新聞に掲載します。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先へお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

- 上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について  
個人の株主さまが支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%(※)の源泉徴収税率が適用されています。  
(※) 所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。なお、株主さまによっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。  
詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 少額投資非課税制度口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて  
新規に購入された発行株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当金につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間の「配当金受領株主確定日」までにお手続きを完了していただく必要がありますのでお気を付けください。また、ご所有の株式のうち、特別口座に登録された株式をお持ちの株主さまは「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。  
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

# お客さま満足度向上に向けた取組

## 愛知銀行 CS宣言

当行は地域のお客さまから信頼され、業績の発展とともに、地域社会の繁栄に貢献する金融機関を目指すため、「お客さまの声」を大切にされた経営体制の確立に積極的に取り組んでおります。

### ■障害者差別解消法への取組

当行の行員を対象として研修を開催し、行員の障害者差別解消法への理解・知識の向上と店頭対応力の向上に努めております。全てのお客さまに配慮した優しい店舗づくりに取り組んでおります。



### ■特殊詐欺被害の未然防止への取組

窓口、ATMコーナーでのお声かけやポスター、ATM画面等での注意喚起の表示およびキャッシュカードでの振込の一部利用制限実施など、特殊詐欺被害の未然防止に積極的に取り組んでおります。



二重電話詐欺の被害防止啓発活動

### ■店舗の新設・移転

#### ■岡田支店 平成30年3月12日移転!

岡田支店を支店の北約3.5kmに位置する知多支店内に、店舗内店舗方式\*にて移転しました。移転先の知多支店は、長曾橋西交差点の南になります。



#### ■豊成支店 平成30年3月26日移転!

豊成支店を支店の南西約1.5kmに位置する松葉町支店内に、店舗内店舗方式\*にて移転しました。移転先の松葉町支店は、近鉄烏森駅東南約50m松葉町一の交差点南側になります。



\*店舗内店舗方式とは、複数の店舗を一つの店舗内で営業する方式のことです。



# 店舗網、ATMネットワーク



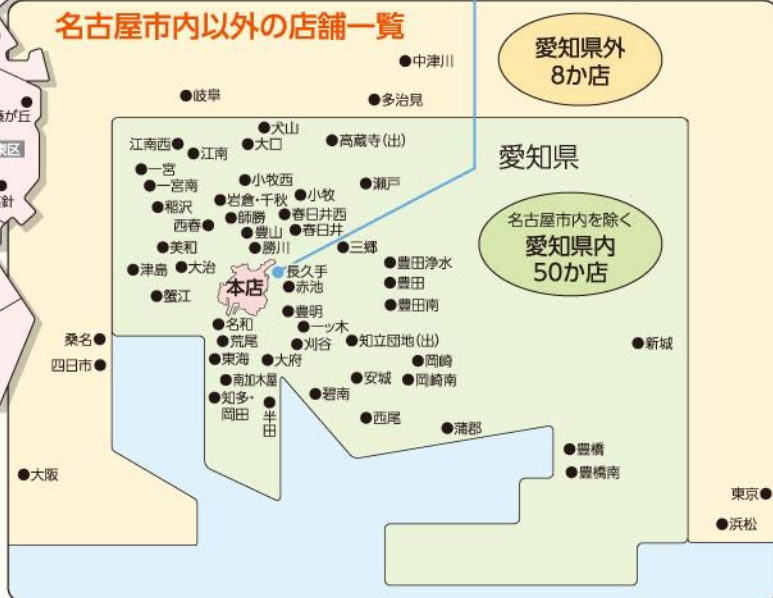
## ■名古屋市内店舗一覧



長久手支店 (藤が丘支店の店舗内店舗から移転)  
平成29年12月18日 新築オープン

(平成30年3月31日現在)

## 名古屋市外以外の店舗一覧



本店:〒460-8678 名古屋市中区栄三丁目14番12号 TEL (052) 251-3211 (大代表)

## ■ATMネットワーク

愛知銀行ATMで当行キャッシュカードをご利用の場合、全日・全時間帯において現金のお引き出しが手数料無料でご利用いただけます。



※ATM設置台数は平成30年3月末現在です。



当行キャッシュカードをご利用の場合、平日日中は現金のお引き出しが手数料無料でご利用いただけます。

## 提携ATM

	ATM	設置台数12,980台 (うち愛知県内676台)
	コンビニATM E-net	設置台数24,392台 (うち愛知県内1,224台)
	セブン銀行	設置台数6,181台 (うち愛知県内457台)
	イオン銀行	設置台数12,813台 (うち愛知県内569台)

提携ATMで、現金のお引き出しがご利用いただけます。  
※ご利用には、ATM利用手数料が必要となります。  
※ATM設置台数は平成30年3月末現在です。



## プロフィール (平成30年3月31日現在)

名 称	株式会社 愛知銀行
本店所在地	名古屋市中区栄3-14-12
創 業	明治43年9月17日
資 本 金	180億円
総 資 産	3兆1,375億円
店 舗 数	106か店舗
従 業 員 数	1,652名

### ■連結子会社(4社)

名 称	主要な事業の内容
愛銀ビジネスサービス株式会社	銀行事務サービス業
株式会社愛銀ディーシーカード	クレジットカード業
愛銀リース株式会社	リース業
愛銀コンピュータサービス株式会社	電算機による業務処理等



愛知銀行本店



Littlelovin

愛知銀行のマスコットキャラクター

「リトルラヴィン」

手に持っている♡でみんなを幸せにするよ!

よろしくね♡

©2016, 2018 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G590706



The Aichi Bank, Ltd.

ホームページアドレス <http://www.aichibank.co.jp/>

